生産方式革新実施計画の概要 【農事組合法人 強首ファーム】

2026年
10月22日認定

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

×

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

＜申請者＞

農事組合法人 強首ファーム（秋田県大仙市）
経営概況（2026年10月時点）
経営規模：水稲37ha、大豆25ha、
露地野菜3ha
従業員数：4名

＜対象品目＞

水稲

＜計画の実施期間＞

５年間

＜活用予定の支援措置＞

補助事業の優遇措置

＜生産方式革新事業活動のイメージ　等＞



強首ファームの皆様



栽培管理システム（KSAS）

～認定を受けて一言～

スマート農業技術の実装を加速させつつ現場の知恵を組み合わせ、生産性の革新と地域農業の持続可能なモデル確立に精一杯挑戦します。

【問合せ先】　東北農政局生産部環境・技術課　（直通）022-221-6193